

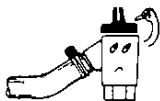
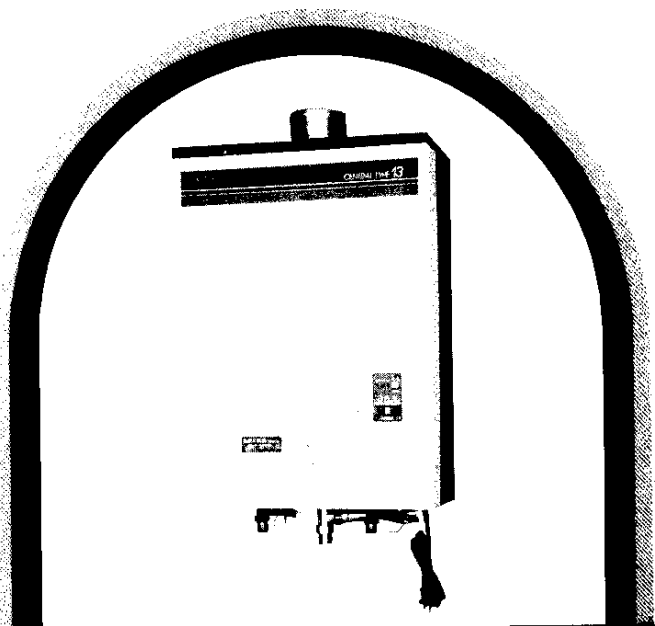


大阪ガス

ガス湯沸器 取扱説明書

33-857型

保証書付
法定型式S13S6型



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を



使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください！



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器をお求め
いただきありがとうございました。

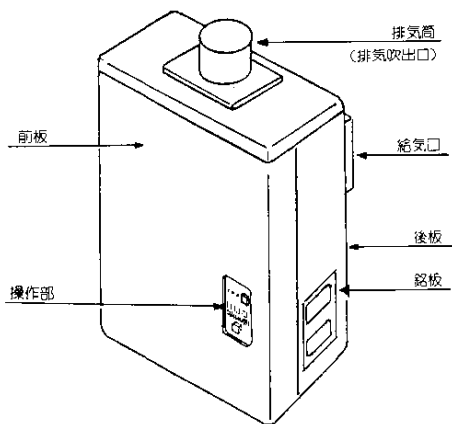
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	3
●湯沸器の設置	6
●使用手順	7
●シャワーコントローラ〈別売部品〉の使用法	9
●使用時のご注意	11
●日常の点検・手入れ	15
●故障・異常の見分け方と処置方法	17
●アフターサービスのお申し込み	18
●特長	19
●寸法図と仕様一覧表	20
●別売部品のご紹介	21
●本製品と快適なくらしのために	22

各部の名称

外 観



操 作 部

切替ランプ(黄色)

- 湯温調節の優先権を知らせます。このランプが点灯している場合のみ湯温調節ができます。

燃焼ランプ(赤色)

- バーナに着火すると点灯します。
- 使用中異常が発生すると点滅します。

運転ランプ(緑色)

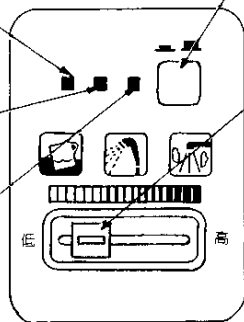
- 運転スイッチを入にすると点灯します。

運転スイッチ(押しボタン方式)

- 入、切になっています。

湯温調節つまみ

- 右へスライドさせるとお湯が熱くなり、左へスライドさせるとお湯がぬるくなります。



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

湯沸器本体の前面にはあってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

(銘 板)

メーカー型式

ガスの種類およびグループ

ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

- 都市ガス用6C
- 都市ガス用6A
- 都市ガス用13A
- LPG用

- ガスの種類には、都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と湯沸器銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この湯沸器はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているか確かめてください。

用途についてのご注意

- 給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。

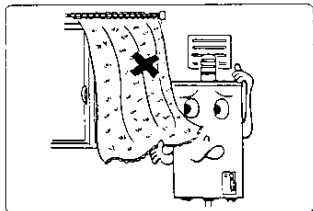
使用場所についてのご注意

- 湯沸器の使用場所について
①屋内設置専用の湯沸器です。屋外には絶対設置しないでください。
②詳しくは「工事説明書」を参照してください。

特に注意していただきたいこと②

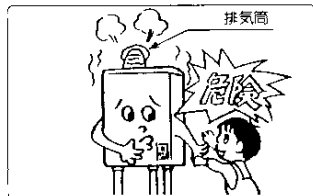
火災予防

- 湯沸器の上やそばに燃えやすいもの(せんたくもの、ダンボール、揮発油など)を絶対においたり、近づけたりしないでください。

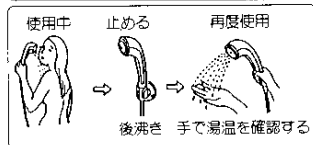


やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、排気筒が熱くなります。手を触れたりしないでください。

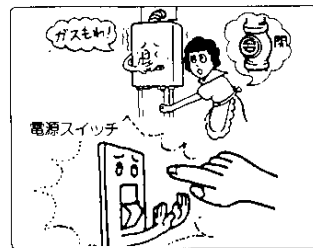


- シャワーをご使用后、すぐに再度お使いになるときは、いきなり体や頭にかげず、少しだしてから手で湯温を確認してお使いください。湯沸器の後沸きによって一瞬熱いお湯がでることがありますのでご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止して、ガス元せんをしめ、絶対に使用しないでください。
- 万一ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、他の電気器具にふれたり(スイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。



特に注意していただきたいこと③

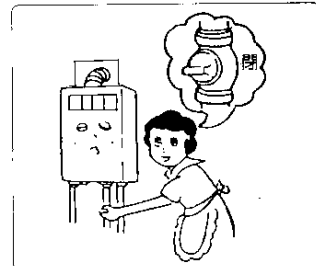
凍結についてのご注意

- 厳寒時には湯沸器内の水が凍結し、破裂事故が起こることがありますので、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は凍結防止処置を必ずおこなってください。(凍結防止処置方法については13ページを参照)
- 凍結したときは
 - ①湯沸器や配管が破損し、高額な修理費用がかかる場合があります。
 - ②凍結したまま使われますと、湯沸器に異常が生じる場合があります。凍結が溶けた後、水もれがないことを確認のうえご使用ください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止(運転スイッチ「切」、ガス元せん閉止)してじゅうぶんな点検をお願いします。

故障・異常の見分け方と処置方法については17ページをお読みください。

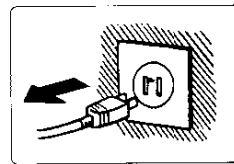


日常の点検・手入れ

- 湯沸器を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ずおこなってください。点検、手入れの方法については15ページをお読みください。

落雷について

- 落雷のおそれのあるときは、使用を中止して電源プラグを抜いてください。



湯沸器の設置

設置上のご注意

- 正しく設置されているか、工事説明書を参照のうえお客様自身で確認してください。

給水・給湯・電気の接続

- 給水・給湯、電気の接続工事は専門の工事業者におまかせください。

ガス管の接続

- 鉄管接続になっていますので、大阪ガスにご相談ください。

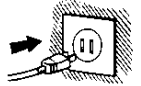
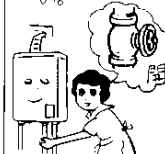
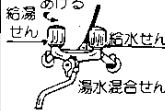
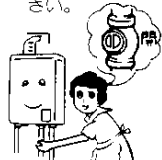
アースの接続

- 水道管およびガス管にはアース接続しないでください。

使用手順

使用前の準備と確認

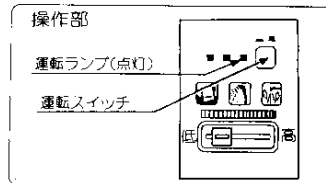
- 湯沸器(機器)の操作をする前に次のことを行なってください。

手順 1	手順 2	手順 3	手順 4
<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。(交流100V) 	<ul style="list-style-type: none"> ●給水元せんと全開にしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●給湯せんと開いて水が出ることを確認し給湯せんと閉じてください 	<ul style="list-style-type: none"> ●ガスの元せんと全開にしてください。 

操作のしかた

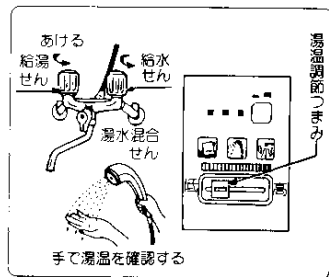
1. 点火

- 運転スイッチを押して「入」にしてください。運転ランプ(緑)が点灯します。



2. 給湯(お湯の出し方)

- 給湯せんと開けますと、自動的にバーナーに着火し、燃焼ランプ(赤)が点灯しお湯が出ます。
- 湯温調節つまみを操作して、お好みの湯温にセットしてお使いください。又、湯温調節つまみを高温側にセットして湯水混合せんで水と混ぜて適温にしても使えます。
- 使いはじめは、給湯配管内の水が流れるまで、お湯は出ません。約30秒待ってもお湯が出てこないときは給湯せんとをいったんしめ、再度、給湯せんとをあけてください。



使用手順②

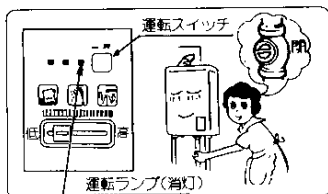
- 夏期や水圧が下った時など能力が十分出ないことがあります。そのような時には、湯温調節つまみを高温側にセットし湯水混合せんで水と混ぜて適温してお使いください。
- 冬期水温の低い時など、給湯せんを全開にしますと、熱い湯が出ないことがあります。そのような時には給湯せんを少し絞ってお使いください。
- 給湯せんを極端に絞りますと、バーナーの炎が消えて水が出る場合があります。

3. 給湯停止(お湯の止め方)・消火

- 給湯せんを閉じれば、自動的にバーナーの炎が消え、燃焼ランプ(赤)が消灯します。

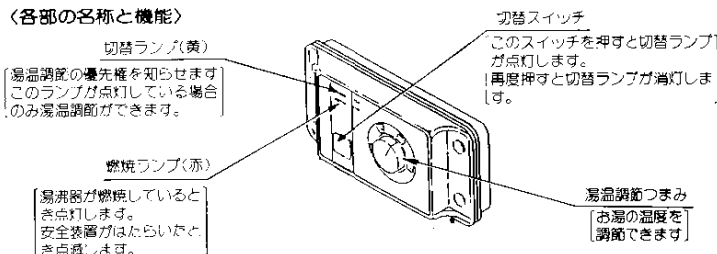
4. 運転停止

- 運転スイッチを押して「切」にしてください。運転ランプ(緑)が消灯します。
- ガス元せんを「閉」にしてください。



シャワーコントローラ《別売部品》の使用法

《各部の名称と機能》



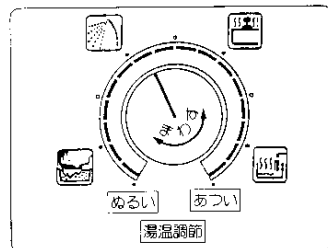
《操作のしかた》

1. 点火

- 器具操作部の運転スイッチを「入」にして
てください。

2. 給湯(お湯の出し方)

- 給湯せんを開けるだけで自動的にお湯
がでできます。…燃焼ランプ(赤)点灯。



3. 湯温調節

- 切替スイッチを押して切替ランプ(黄)が点灯していることを確認してください。
- 湯温調節つまみを使用目的に応じ、適切な位置にセットしてください。
- 水温や湯量により多少異なりますが、約35℃(ぬるい位置)～約80℃(あつい位置)まで無段階に調節できます。
(高温のお湯がえられない場合は、給湯せんを少ししぼってください。)

4. 給湯停止(お湯の止め方)・消火

- 給湯せんを閉じれば自動的に消火します。……燃焼ランプ(赤)消灯

《ご注意》

- ①ご使用後は必ず切替スイッチを再度押し、切替ランプ(黄)の消灯したことを確認してください。
 - 切替えを忘れますと台所などでご使用の場合も、このシャワーコントローラの湯温指示になります。
- ②シャワーコントローラでは運転スイッチの「入」「切」はできません。使用中に燃焼ランプ(赤)が点滅した場合は17ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を参照してください。

使用場所についてのご注意

- 浴室または脱衣場に設置しますと便利に使用できます。シャワーの水がいつもかかりそうなところへは設置しないでください。

使用時のご注意

- 飲料用、調理用としてお使いのとき
湯沸器内に長時間たまった水は飲料用または調理用に用いないでください。
- 使用後すぐに再度お使いになるとき
湯沸器の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、少しだしてから手を触れるようにしてください。
- 給湯せんの同時使用について
2箇所同時に給湯使用したとき、湯温が低くなる場合があります。
シャワー使用中は、同時使用はさけてください。
- 水圧が下がったとき
この湯沸器は、1kg/cm以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧が下がると、バーナーは消火しますが故障ではありません。(給水元せんは全開にしてお使いください。)
- 湯量について
この湯沸器には季節(水温)による最高出湯温度の変動を小さくするために水温によって自動的に湯量を変える装置が組み込まれています。そのため湯量は夏場(水温25℃)約10ℓ/分～冬場(水温5℃)約7ℓ/分になります。

停電時の処置

- ①給湯使用していて停電になったときは使用できませんので、給湯せんを止めて、運転スイッチを「切」にしてください。
- ②再通電したときは、7ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

断水時の処置

- ①断水のときは、給湯せんを止めて運転スイッチを「切」にしてください。
- ②再使用するときは、必ず給湯せんから水のであるのを確かめてから使用してください。
 - 使用手順は7ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

使用時のご注意②

安全装置が作動したときの処置について

使用中に燃焼ランプ(赤)が点滅したときは、使用を中止して給湯せんをしめてください。

約1分間様子を見て再度給湯せんをあけて使用してください。そのとき再び燃焼ランプが点滅したときは、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

●バーナー安全装置

万一使用中にバーナーの炎が消えても生ガスが出ないように安全装置が働いて自動的にガスが止まります。(燃焼ランプ「赤」が点滅します)

●過熱防止装置(温度ヒューズ)

使用中湯沸器内の温度が異常に高くなったときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。(燃焼ランプ(赤)が点滅します。)

●残火安全装置(ハイリミットスイッチ)

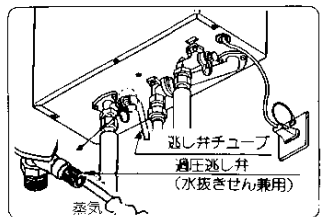
熱交換器が異常な温度上昇をしたときは安全装置が働いて自動的にガスが止まります。(燃焼ランプ「赤」が点滅します)

〈ご注意〉

残火安全装置が作動するときは、熱交換器の中の圧力が異常に高くなり、湯沸器の損傷を防ぐため安全装置(過圧逃し弁)から圧力を逃します。

作動したとき高温の蒸気が噴出しますのでご注意ください。

必ず付属のビニールチューブが接続され支障のないところへ導かれているか確認してください。

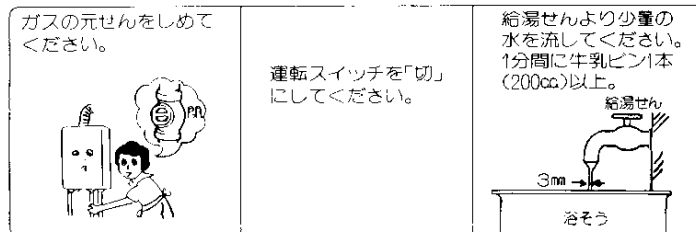


使用時のご注意③

凍結防止処置

1. 給湯せんから水を出し放しにする方法(一般的な凍結防止方法)

- 湯沸器本体だけでなく、給水管、給湯管、バルブの凍結防止にもなります。



〈ご注意〉

給湯せんからの流量が不安定なことがありますので念のため30分くらい後にもう一度、流量を確認してください。

2. 湯沸器内の水を抜く方法

〈入居前や長期不在の場合〉

- この方法では、給水・給湯配管部分の凍結防止は出来ませんが、凍結から湯沸器を守るには、最も良い方法です。

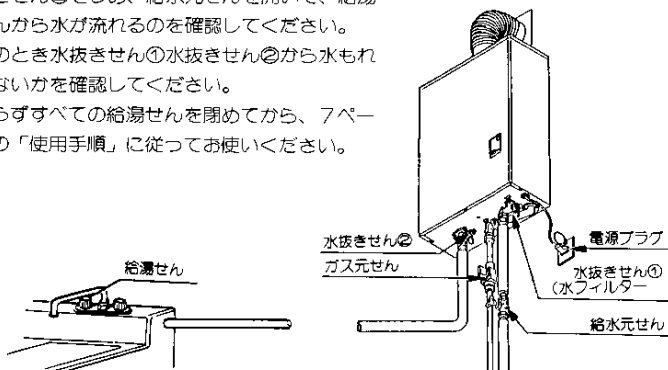
〈水抜きの手順〉

1. 運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. ガス元せんをしめてください。
3. 給水元せんをしめてください。
4. すべての給湯せんをあけてください。
5. 水抜きせん①、水抜きせん②を左に回して外してください。

使用時の注意④

〈ご注意〉

- 給湯せんは、次にお使いのときまであけたままにし、水抜きせん①及び水抜きせん②は、外したままにしておいてください。
- 再度、使用されるときは、水抜きせん①及び水抜きせん②をしめ、給水元せんを開いて、給湯せんから水が流れるのを確認してください。このとき水抜きせん①の水抜きせん②から水もれがないか確認してください。
- 必ずすべての給湯せんを開けてから、7ページの「使用手順」に従ってお使いください。



日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れはやけどをしないように湯沸器がじゅうぶん冷えてからおこなってください。

点検

- 湯沸器の周囲に燃えやすいものを置いていませんか？
- 排気吹出口や給気口をふさいでいませんか？
※排気吹出口、給気口の位置は2ページ「各部の名称」を参照してください。

定期点検について

- 湯沸器はご使用にしようがなくても、2～3年に1回ぐらい、バーナーや各部の作動が“正常”かどうか点検するのが、安全と長期間ご使用いただくための“ひけつ”です。
- お買求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に、点検・診断を依頼してください。

お手入れ

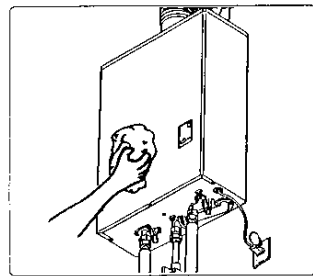
1. 前板のそうじ

- 汚れは布又は、スポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとってください。

〈ご注意〉

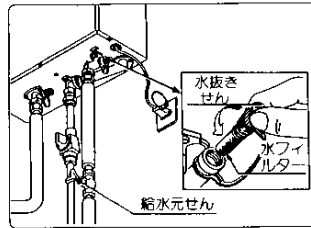
洗剤が残らないようにふきとってください。

シンナーやベンジンなどでふかないでください。（湯沸器本体の色、表示ステッカーの字などが消えます。）



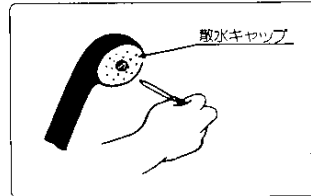
2. 水フィルターのそうじ

- 水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。その場合は給水元せんをしめ、水抜きせんを左に回してはずし、水フィルターを引き出して、そうじしてください。(水フィルターをまげないでください)



3. シャワーヘッドのそうじ

- シャワーをお使いになるとき、お湯がでにくくなったり、バーナーの炎が消えたりするときは、シャワーヘッドにごみがつまっていることがあります。シャワーの散水キャップを取外してそうじしてください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

現象	原因										処置方法	参照ページ	
	給湯せんを開いても着火しない	着火しにくい	高温の湯がでない	使用中に消火した・消火しやすい	使用中湯温が極端に変動する	異常な音をたてて燃える	過圧逃し弁から水がでる	燃焼ランプが点滅する	ガス元せんを全開にする	点火操作を繰り返す			給水元せんを全開にする
ガス元せんのあきがふじゅうぶん	○		○						○			ガス元せんを全開にする	7
配管内に空気が残っている	○										○	点火操作を繰り返す	7
給水元せんのあきがふじゅうぶん	○	○										給水元せんを全開にする	7-8
水圧が適切でない	低い	○	○	○								点検・修理を依頼する	—
	高い							○					—
水フィルターにごみがつまっている	○	○			○							つまり除去または点検・修理を依頼する	16
給湯せんのあきがふじゅうぶん	○	○			○							給湯せんを十分に開ける	7
給湯せんのあけすぎ					○							給湯せんを絞る	8
電源プラグの差し込み忘れ	○											電源プラグを差し込む	7
運転スイッチの入れ忘れ	○											運転スイッチを「入」にする	7
点火装置の故障	○										○	点検・修理を依頼する	—
水ガバナの故障	○		○	○								点検・修理を依頼する	—
安全装置が作動	○	○									○	点検・修理を依頼する	12
バーナー炎口、空気孔、ノズルのつまり								○				点検・修理を依頼する	—
ノズルへの逆火											○	点検・修理を依頼する	—

処置や原因がわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 17ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- ご確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店やまたはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- ① 品 名……（ガス湯沸器）
- ② 品 番…… 湯沸器の左側面に貼付してあります。

（例）

(4)33-857(U)

大阪ガス株式会社 **07**

- ③ 現 象……（できるだけ詳しく）
- ④ 道 順……（できるだけ詳しく）

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この湯沸器には保証書がついています。
このガス湯沸器は保証書に記載のように、湯沸器の故障について修理します。
詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

- 1 電子コントロール方式で出湯温度を検知して自動的にガス量を制御しますから、季節により水温が変化しても出湯温度は、一定です。
- 2 運転スイッチを押すだけで、あとは給湯せんの、開・閉だけで点火・消火ができます。
- 3 ガス、お湯の無駄が少ない省エネルギータイプです。
 - 出湯能力は13号から4号まで自動的に調節しますから使用用途に恋じて適温、適量の湯が得られます。（ただし出湯能力の範囲内で）
 - 給湯せんを開くだけで、メインバーナーに着火するダイレクト着火方式ですからムダなガスは使いません。

